

声をカタチに！
現場に飛び込む
行動派！
仙台市議会議員

鈴木ひろやす

The News Letter
2021.12.10
vol.74

（発行）
鈴木ひろやす事務所
Tel&Fax
022-242-0840
URI
https://suzuki.sendai-komei.jp
E-mail
suzuki-h@dol.hi-ho.ne.jp

みなさまが
らの「声」
をお待ちし
ています。



ご挨拶

10月12日に第3回の定例会が終了しましたが、10月4日の内閣総辞職以降、同日総理大臣指名選挙で、第100代の総理大臣が選出されるという中、ニュースレター発行も遅れていました。

その後、10月14日に衆院解散となり、現行憲法下で初めて投票票日が任期満了日（10月21日）の後にずれ込むことになりました。そして、新内閣の発足から解散まで10日間、解散から投票日まで17日間しかない、ともに戦後最短での選挙戦が行われました。

最短解散で総選挙が実施され、11月10日岸田内閣が午前の繰下げ閣議で総辞職し、午後の衆参両院本会議で岸田文雄衆議院議員が101代内閣総理大臣として、再び指名され、第2次岸田内閣が発足しました。
東北・宮城・仙台として前進させ

いただいた、国政での議席でありますので、国政と地方ネットワークを組みながら、新内閣で示されるコロナ対策・新たな経済対策等を見据え、コロナ禍での市民生活が安心して出来る状況と社会経済活動が出来るように取り組んでまいります。

議会報告

議会質疑（抜粋）

第3回定例会では、令和2年度決算等審査特別委員会での審議も行われ、全体会で以下内容について質疑しました。

【コロナ禍での 自宅療養者への 食品配布】

◆問◆厚労省は、10月1日、新型コロナウイルス感染症の流行「第6波」に備え、自宅療養者らの健康観察や重症化予防を強化する方針を決めました。今年度は自宅療養者生活支援へ2千300万円余の予算であり、決算年度の3倍を確保しているわけであり、感染後自宅での療養をやむを得ない方への支援物資の内容を見直し、連携協定を締結の大塚製薬にも依頼をして、片手で簡単に栄養補給できるポカリスエットや栄養ゼリー等、また、熱さまシートも入れてあげてほしいと思います。いかがでしょうか。



■答■（保健所副所長）自宅療養者への支援物資の構成につきましては、本市の栄養士によるメニュー見直しの検討を行っており、スポーツドリンクやドリソゼリーについても物資に入れることとして、今後、現在抱えている在庫状況を見極めながら、新たなメニューへ変更を行う予定としております。引き続き、自宅療養される方が療養に専念できるよう、必要な支援を行ってまいりたいと思っております。

【地域猫対策について】

◆問◆不妊去勢手術費助成事業への補助財源の一部は、仙台ふるさと応援寄附金であります。使途の中に「動物愛護の推進」も示されているからです。決算年度の助成額は327万円であり、令和3年度予算では373万円になっております。飼い主のいない猫の適正管理のため、不妊去勢手術を行う頭数を更に増やすことが大事であります。しかしながら、不妊去勢手術助成の補助財源の一部となっているふるさと応援寄附金は、毎年変動するものであります。不妊去勢手術費助成事業は条例に則し、市民が協働で行う事業でもありますので事業を円滑に進められるよう予算額を確保すべきであります。健康福祉局長に伺います。



■答■（局長）地域猫活動などにより

まして、飼い主のいない猫を適正に管理するということを進めていくためには、まず、不妊去勢手術により繁殖を抑制することが重要と考えてございます。今後とも助成事業が円滑に進められるよう、ふるさと応援寄附金も活用しながら、必要な予算の確保に向け頑張ってまいりたいと思っております。

【いじめ・ 不登校対策について】

◆問◆9月11日で2013年に制定された「いじめ対策推進法」が制定から8年になったということであり、いじめ問題も学校の中だけで解決できる課題ではなくなっている、だから行政も教育局と子供未来局が連携を取りながらも、一番はそれぞれの子どものために、そして保護者のためにと知恵を出し合いながら、導いていくことが大事であります。そして、保護者・家庭における子どもの教育も大事であり、いじめ防止法でも、保護者の責務を定めています。学校に行けなくなった子どもたちも公立学校という枠だけではなく、フリースクール、または特例校という多様な選択肢を子どもたちに与えていくことで、多様な学びと社会的自立に向けた、それぞれの子どもたちのため、そして保護者のため、一番いい方向が見えてくるのだと思っております。市長に伺います。（裏面に続く）



■答■(市長)子どもたちが、自らの進路を主体的に考え、社会的自立に向けて取り組んでいくことは大切であり、そのために、一人ひとりに応じた多様な学びの機会があることが重要と認識しております。本市では、これまで児童遊の杜や杜のひろばの運営、「ステーション」の設置・拡充を通して、不登校の子どもの居場所づくり、学びの機会の確保に努めてまいりました。フリースクール等の民間施設や、他の自治体で行われている不登校特例校につきましても、学びの場の一つと認識しております。引き続き未来をたくましく、しなやかに生きる子どもたちの健やかな成長に向けて、学びの確保につながるよう、教育委員会と連携して取り組んでまいります。

【民生委員活動の
あり方】



◆問◆活動費の多寡で、民生委員としての活動への意欲や行動が変わるわけではないと思いますが、本市では、一人の民生委員が担当する世帯は、また日々記録をつけて活動している状況を見ると、年間7万200円という活動費は妥当なのかということがあります。もう少し、1万円くらい増額しても良いのではないかと、健康福祉局長に伺います。

■答■(局長)：社会課長から答弁申し上げました活動費の金額につきま

しては、他の指定都市の活動実態というところでも詳細に確認した上で判断することが必要であろうと考えております。一概に高い低いということとを評価するというのはなかなか難しい部分あるかと思っております。一般論として申し上げますと、地域における様々な活動に更に取り組んで、更に幅広く取り組んで頂くということを考えますと、増額ということも視野に入ってくるのではございません。これにつきましては引き続き、仙台市民生委員児童委員協議会理事会の皆様をはじめとしてご意見を伺いながら、適切な活動費のあり方につきましては、関係局とも十分連携をした上で、検討してまいります。

政務活動
フォトダイジェスト



第3回定例会では、令和2年決算についての審査が行われました。3つの分科会での質疑に続き、全体質疑が行われコロナ禍での自宅療養者への食品支給内容について、地域猫対策について、民生委員の役割について、いじめ・不登校対策について質疑。(10月7日)



令和4年度の仙台市予算に対する公明党仙台市議団としての「令和4年度予算要望」を市長に提出しました。3回目のワクチン接種が円滑にできる体制整備等市民の声も含め518項目を要望。(10月14日)



「大規模災害時における災害活動への支援に関する協定」に基づき、宮城県解体工事業協同組合と仙台市消防局救助隊員の合同訓練に、組合顧問として出席しました。(11月2日)

みなさまの声を
お聞かせください



子どもたちの健全育成活動の一環として、地域清掃活動(通学路清掃)を柳生中学校育成OB会が実施。(11月21日)



地元で創設された「柳生・西中田商工振興会」で募集していた、公式キャラクターの表彰式に顧問として参加。キャラクター名「かやっくりー」(10月16日)